
僕の存在

シャンデリアA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の存在

【Nコード】

N1973Y

【作者名】

シャンドリアA

【あらすじ】

僕はなんでここにいますのでしょうか。僕に聞いてみましょう。

今から僕は僕という存在に問います。正直にお答えください。

- わかりました。

僕は誰ですか？

- 僕は僕です。

何故僕というのですか？

- 親が決めたからです。

僕はどうしてここにいますのですか？

- 生まれてきたからです。

なぜ僕が生まれたのですか？

- そうなる運命だったからです。

なぜ僕はその運命通りに生まれたのですか？

- そう決まっていたからです。

では他の運命も決まっている。ということですよ？

ほかの運命ではダメだったのですか？

- 決められた運命は変えることができないからダメだったのではないかと思います。

何故決まっているとわかるのですか？

- ……

つまりなぜかはわからないけど僕はここに生まれた。

そう受け取っていいのですね？

- はい……

では、次の質問に入ります。

僕は何ですか？

- 僕は僕です。

前世はなんだったのですか？

- わかりません

では前世も僕だったということもありえるんですね？

- いえ、それはないです。

なぜですか？

- 僕は親の遺伝子で決まって生まれてきたのです。

では、前世も同じ親で同じ僕が生まれてきたということはないのですか？

- はい、ありません。

なぜそう言い切れるのですか？

- 人は生まれ変わるからです。これを輪廻転生と言います。

では動物はずっと動物に生まれ変わるのですか？

- いえ、動物もたまに人間に生まれ変わります。

では何故人口が爆発的に増えないのですか？

動物も人間になるなら数百億はもう超えてると思うのですが。

- ………

少し脱線してしまいましたね。

つまり初めて僕がここにできた。

そういうふう to 受け取っていいのですね？

- はい……

では、次の質問に入ります。

僕はなんで僕なのですか？

- 僕だからです。

僕の友人を一人挙げてください。

- 。。。君です。

その人をもう少し詳しく教えてください。

- 。。。君はかつこよくて、頭が良くて、明るい人です。

では、僕について詳しく教えてください。

- 僕は。。。君と正反対です。

なぜ、そう言い切れるのですか？

- 僕のことは僕にしかわからないからです。

その割には。。。君の詳細と同じくらいしか分かってませんよね？

- ……そうですね。

と、言うことは。。。君と僕は同じということですね？

- そうですね、同じ人間ですから。

では、僕と。。。君が変わってもわからないということですね？

- いえ、見た目が違うのですねすぐにバレます。

なぜですか？同じなのに。

- 個人差があるからです。

なぜ個人差があるのですか？

- 人間の染色体はそれぞれバラバラで、ひとりひとり違うからです。同じに人間なのに何故違うのですか？皆同じだったほうがいいのでは？

- 誰が誰だかわからなくなるからです。
でももとはひとつの個体ですよね？

- ええ、まあ。

なのになんでここまで違うのですか？

全部統一しても良いのでは？

- みんながみんな同じだと気持ち悪いでしょう？
なぜ気持ち悪いのですか？

- 同じことを考えていて、同じことをする奴らって気持ち悪くないですか？

それもそうですね、では、あなたと。。。君は同じ個体だけど、考え方、存在が違う。ということですか？

- ええ、まあ。

そうですね、わかりました。

ありがとうございます。

では、今まで聞いてきたことを全て振り返り、もう一度お聞きします。

僕は一体何ですか？
僕は誰なんですか？

（後書き）

鏡に向かって時々僕について考えているときがあります。
上に書いたみたいな内容で問いかけます。

自分がどうしても他人に思えてしょうがないのです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1973y/>

僕の存在

2011年11月3日23時03分発行